



異文化理解と主体的学びを育む — iPadと体験学習を 融合した韓国語授業の実践

外国語教育センター 特任講師 林 河運

韓国朝鮮語Ⅰの授業では、iPadを使ってわかりやすく内容を整理しながら、韓国の文化を実際に体験できる活動（韓服を着る、伝統的な遊びをする、料理を紹介するなど）を取り入れて、学生が楽しく学べるよう工夫しています。このような体験を通じて、学生が自分から積極的に学ぼうとする気持ちを育てることを大切にしています。授業のあとは、Moodleのフォーラムを使って感じたことや意見をクラス全体で共有します。ほかの人の考えに触れることで、多様な文化や価値観への理解を深められるようにしています。これからは、こうした体験型の学びをさらに広げ、教材や授業内容を充実させていく予定です。また、韓国語に限らず、ほかの外国語の授業にも取り入れられるような授業の形を目指し、外国語教育全体の新しい学び方の一つとして発展させていきたいと考えています。

